

ひがしの子



佐久市立東小学校学校だより 平成 29 年 1 月号

3 学期始業式 校長講話

「飛翔」の年に

あけましておめでとうございます。

1年のまとめ、3学期が始まりました。50日間という短い学期ですが、次の学年に進級、6年生は中学に進学する大切なまとめの学期です。

体育館の前面に大きな額があります。あの額は、この東小学校ができたときから大切にしている学校の宝の一つです。なんて書いてあるかわかりますか。「飛翔 ひしょう」と読みます。飛翔の「飛(ひ)」とは、鳥が空を飛ぶ、飛び越える、飛ぶように速く走るなどを意味します。また、翔(しょう)とは、羽を広げて飛ぶ、空高く飛ぶなどを意味します。飛翔(ひしょう)とは、空高く飛び上がる、空を飛び回るといった意味です。この「飛翔」の額には、東小学校の子どもたちが、鳥のように空高く飛び回ってほしい。今いる場所から、大きな空に向けて希望をもって羽ばたいてほしい、成長してほしいという願いが込められています。今年は、酉年ですね。皆さんも、鳥のように羽を大きく広げて空高く飛び上がるような年にしましょう。

さて、2学期の終業式で、ちょっとずつがんばれそうな3学期の目標を考えてみましょう、というお話をしました。冬休み中に考えてみましたか。

私から、このまとめの3学期に、みなさんに頑張ってもらいたいことを二つ言います。

一つ目は、黙々清掃です。今までいろいろな学年の人たちと縦割り活動をしたり、黙って行

う無言清掃に取り組んだりしてきました。みなさんが黙々清掃に真剣に取り組めば取り組むほど、この東小学校がきれいな学校になります。黙々清掃は、学校を磨くだけでなく自分の心を磨きます。また、学校をきれいにするには、そこで生活する他の人たちのためになることをすることです。清掃の時間になると、学校の中がシーンとなって一人一人が黙々と掃除に取り組めるようになると、もっと素晴らしい東小学校になると思いませんか。特に、6年生、5年生の高学年の皆さんには、全校のお手本になってほしいと思います。

二つ目は、学習です。しっかりと自分の力をつけるために学習しましょうということです。3学期は、次の学年に進級、進学するために大切な学期です。みなさんは、学校に学習をするために来ています。先生方は、みなさんがしっかりと学習できるように応援します。遊ぶ時には大いに遊び、授業中はしっかりと学習をしましょう。

3学期の最後には、みなさんが黙々清掃と学習にしっかりと取り組める姿になっていることを期待しています。



さまざまな方に支えられて

信州型コミュニティースクールの学習支援など

今年度は、信州型コミュニティースクールに向けて運営委員会が発足し、「東っ子応援団」の方々に様々なところで支えていただきました。今までも学校と地域が連携して子どもたちを育てる取組をしてきましたが、更に学校と地域住民の協働による、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めていきたいと考えます。「東っ子応援団」以外にも、様々な方が学校に来ていただき、子どもたちに指導をしてくださいました。ここ2か月間の活動をいくつか紹介いたします



5年生は、年末にしめ縄づくりを行いました。講師の方にやり方を説明していただいた後、実際に縄をなってみました。手先の動きがなかなか難しく編み上がっていきません。それでも、見よう見まねでやっているうちに段々としめ縄らしくなってきました。多い子は、時間内に3つも完成させ、それぞれ大事そうに家に持ち帰りました。きっと、今年のお正月は玄関などに飾っていただけたのだと思います。



4年生は、「みどりの教室」で、講師の方に森林に関する紙芝居を見せていただきました。日本や佐久市の森林について学びました。森林が飲料水と深いかわりがあることや、野菜づくりや漁業にも大切な役割を果たしていることがわかりました。その後、間伐材を使ったコースターや名札づくりに挑戦。木の香りを感じながら工作に熱中しました。



2年生は、地域の方から豆腐づくりを教えてくださいいただきました。ミキサーで大豆をつぶし豆乳を作りました。にがりを入れるとだんだん固まってきて、型に入れて水気を取ると、ちょうどいい堅さの豆腐が出来上がり。大豆が変化するたびに、驚きの声があがりました。食べてみると、味が濃く甘いおいしい豆腐でした。家族にも食べさせたいと、持ち帰った子どももいました。



卒業記念制作として取り組んでいるのが「軽井沢彫り」のオルゴール箱づくり。職人の方が、全員分の桜の花の図柄にのみ打ちをしてくださったものを、いよいよ彫っていきます。記念の一品だけに、彫り方の説明に真剣に耳を傾けていました。仕上げの段階でもう一度来ていただきます。出来上がる頃は、卒業式間近でしょうか。

1年生は、講師の方に教えていただきながら絵手紙に挑戦しました。画用紙に、身近な野菜を見ながらスケッチしていきます。その後、水彩絵の具で色付けしていきました。また、自分で考えた言葉も添えました。なかなか味のある作品ができあがりました。



家庭科の裁縫やミシン操作の授業にお手伝いをお願いしたところ、快く引き受けてくださった方がいます。今回は、5年生がミシンの上糸のかけ方を教えていただきました。専科教員と学級担任の他に、支援していただく方がいて、子どもたちから発せられるSOSにすぐに対応することができました。お手伝いをしてくださる方を今後も募集したいと思います。



昨年10月に4年生以上の全員が、1週間の活動量調査をしました。その結果については、一人一人に「健康つうしんぼ」としてお渡ししました。

1月24日には、東京学芸大の城所先生が、全校児童に活動量計をつけて運動してみるという授業をしてくださいました。学年ごとに45分間様々な運動メニューを実施した後、活動量計を見ると、どの学年も2,000歩から2,500歩程度だったそうです。10月に測定した本校の平均歩数17,000歩から、できれば目安としたい20,000歩分の運動をするには、体育の授業だけでは不十分であることがわかります。やはり1日の生活の中で体を動かすことが必要であることを実感することができました。子どもたちには、登下校時に歩く、休み時間に体を動かす、家庭でも運動の機会をもつなど、運動をする習慣を今後も大切にしてほしいと思います。



冬に親しむ スケート教室とスキー教室



1月16日(月)にパラダ・スキー場で行われた高学年スキー教室。前日降った雪で、最高のグレンデ状態になりました。開校式が終わるころには青空が広がり、白銀に反射する太陽の光がまぶしいほど。天候にも恵まれました。全部で22グループに分かれて、それぞれがレベルにあわせてコースに散っていきました。

やはり6年生は回数を重ねていたせいか、スムーズな滑りをする子が多かったように感じました。それでも全員がリフトに乗って、指導員のアドバイスを受けながらグレンデを滑り降りてきました。午前午後の練習の結果、技術の向上がはっきりわかるほど上達していました。

近いところにスキー場があるおかげで、たっぷり練習した1日でした。

12月22日(木)は低学年のスケート教室でした。軽井沢のスケート場に着いてから、さっそくスケート靴をレンタル。3年生は、紐をしばってすぐにリンクへ飛び出していきました。1年生は、紐しばりボランティアの方にお手伝いしていただきました。1周400mの長いコースを、転んでは起きたり、周りのクッションにつかまったりしながら、へこたれることなく練習していました。足が痛いとか疲れたとか言って休む子がほとんどいなかったようで、1時間半の練習をたっぷりとしてきました。ここでも、がんばり抜く東っ子の姿がたくさんみられました。



インフルエンザや感染性胃腸炎の流行が心配されます。うがいや手洗い、マスク着用など予防に努めましょう。また、体調が悪いときは、早目に休養し、医療機関で受診してください。これからがいよいよ流行シーズンです。

2月の予定

1日(水) 豆まき集会
 6日(月) 来入児1日入学
 学校徴収金振替日
 7日(火) 6年授業参観日
 10日(金) 1・2年授業参観日
 11日(土) 建国記念の日
 管楽器アンサンブル交歓会

14日(火) 5年授業参観日
 15日(水) 校長講話
 16日(木) 3・4年授業参観日
 17日(金) 児童総会
 23日(木) 支部児童会
 6年 東中との交流会
 24日(金) 準備児童会